

報道関係者各位
2023年10月30日
東京・春・音楽祭実行委員会

20回目の春が来る
国内最大級のクラシック音楽の祭典
「東京・春・音楽祭2024」概要発表
開催期間:2024年3月15日 [金] ~4月21日 [日]
~春が訪れ ^{はな}桜がひらいて 音楽が始まる 上野の森に~

東京・春・音楽祭実行委員会（実行委員長：鈴木幸一）は、桜咲く春の上野を舞台にした国内最大級のクラシック音楽の祭典「東京・春・音楽祭2024」を、2024年3月15日（金）から4月21日（日）まで約40日間に亘り開催いたします。

文化の集積地・上野公園の各施設（東京文化会館、各美術館・博物館等）を拠点に、国内外一流アーティストによるオペラ、オーケストラ、室内楽、リサイタルなど、幅広いコンサートを多様な空間でお届けし春の訪れを彩ります。

「東京・春・音楽祭」は2005年に「東京のオペラの森」として始まり、2009年に現名称に改称、2024年に20回目の春を迎えます。20周年を記念し、オペラ公演（演奏会形式）は4演目を上演。東京春祭の“顔”となってきた「ワーグナー・シリーズ」では、マレク・ヤノフスキ指揮/NHK交響楽団で《トリスタンとイゾルデ》を、「プッチーニ・シリーズ」では、ピエール・ジョルジョ・モランディ指揮/東京交響楽団で《ラ・ボエーム》を取り上げます。リッカルド・ムーティは、東京春祭オーケストラと共に《アイダ》を。2005年の第1回に取り上げた演目《エレクトラ》を、20周年ではセバスティアン・ヴァイグレ指揮/読売日本交響楽団が上演します。

これらに加え、マレク・ヤノフスキ×NHK交響楽団によるワーグナー『ニーベルングの指環』ガラ・コンサート、東京バレエ団による公演などで20周年を華やかに祝います。

他にも、現代最高のピアニスト、ルドルフ・ブッフビンダーや欧州で活躍する歌手陣をはじめ、国内外の一流アーティストによる室内楽やリサイタル、人気のミュージアム・コンサート、ドイツ・バイロイト音楽祭提携による「子どものためのワーグナー」、今春復活しご好評をいただいた上野の街を舞台に小さな音楽会を展開する「桜の街の音楽会」も開催いたします。



上野の春の風物詩、東京・春・音楽祭

「東京・春・音楽祭」は、桜咲く上野を舞台に東京の春の訪れを音楽で祝う、国内最大級のクラシック音楽の祭典です。長い冬が終わり、桜前線の知らせが聞こえ始める3月中旬に始まり、街が桜色に染まり、花吹雪から新緑を感じるまでの間、街が華やかに変化するときの躍る心をクラシック音楽で祝いたいと2005年に始まりました。

2024年もオペラやオーケストラ、国内外一流アーティストによる室内楽をはじめとする演奏会から、街角で気軽に楽しめる音楽との出会いの場まで、様々な音色で東京の春の訪れを彩ります。



■これまでの延べ公演数	1,776公演
■これまでの延べ入場者数	495,242名
■これまでの延べ演奏者数	17,805名 (2023年：525名)
■2023年公演数	138公演 (有料公演：74、無料公演：64)
■2023年入場者数	33,132名 (有料公演：23,497名、無料公演：9,635名)
■2023年配信視聴者数	14,484名 (有料配信のみ)

「東京・春・音楽祭2024」開催概要

期間：2024年3月15日[金]～4月21日[日]

会場：上野恩賜公園（東京）一帯、東京文化会館、東京藝術大学奏楽堂（大学構内）、旧東京音楽学校奏楽堂、国立科学博物館、東京国立博物館、東京都美術館、国立西洋美術館、上野の森美術館 /他

主催：東京・春・音楽祭実行委員会

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館（※申請中）

後援：文化庁（※申請予定）/東京都（※申請予定）/台東区

協力：一般社団法人 上野観光連盟/上野の山文化ゾーン連絡協議会/
上野文化の杜新構想実行委員会（※申請予定）

助成：公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド

URL：<https://www.tokyo-harusai.com>

「東京・春・音楽祭2024」10のポイント

- ① オペラ4演目を上演
- ② 20周年記念公演 ガラ・コンサート&バレエ公演
- ③ オペラ、オーケストラ、室内楽など、国内外一流アーティストが奏でるクラシック音楽
- ④ 東京春祭ならではの、個性的なシリーズ企画の数々
- ⑤ 上野公園の美術館・博物館を舞台にした「ミュージアム・コンサート」
- ⑥ 子どもたちがクラシック音楽と出会う場！「東京春祭 for Kids」
- ⑦ 舞台は上野の街中！「桜の街の音楽会」など無料イベント多数開催
- ⑧ 高画質・高音質・自由視点映像でのライブ・ストリーミング配信を実施
- ⑨ **20周年記念** 20公演来場 & 5公演来場で特典プレゼント
- ⑩ **20周年記念** 200人の20歳 リハーサルご招待 & U-25通い放題のスペシャルチケット発売

メイン・ビジュアル&公式サイト リニューアル

20周年を記念して、東京春祭のメイン・ビジュアルがリニューアル！公式サイトも大幅に更新しました。

メイン・ビジュアルのデザイン・ディレクターを務めたのは、美術史学者の西野嘉章（にし の よしあき）氏。音楽祭開始当初から大切にしている“世界への発信”を意識したデザインで、書の「祭」を使い、日本ならではの模様として世界でも親しまれている市松模様を使用しています。

公式サイトには、東京春祭独自のコンテンツが盛り沢山。公演との出会いから終演後の余韻まで、存分にお楽しみいただけます。



1 オペラ4演目を上演！

オペラ公演（演奏会形式）は4演目を上演。東京春祭の“顔”となってきた「ワーグナー・シリーズ」では、マレク・ヤノフスキ指揮／NHK交響楽団で《トリスタンとイゾルデ》を、「プッチーニ・シリーズ」では、ピエール・ジョルジョ・モランディ指揮／東京交響楽団で《ラ・ボエーム》を取り上げます。リッカルド・ムーティは、東京春祭オーケストラと共に《アイダ》を。2005年の第1回に取り上げた演目《エレクトラ》を、20周年ではセバスティアン・ヴァイグレ指揮／読売日本交響楽団が上演します。

2 20周年記念公演 ガラ・コンサート&バレエ公演

20周年記念公演として、マレク・ヤノフスキ×NHK交響楽団によるワーグナー『ニーベルングの指環』ガラ・コンサートを開催。世界屈指のワーグナー歌手が上野に集結し、一夜限りの豪華なコンサートをお届けします。また、東京春祭としては11年ぶりとなるバレエ公演を開催。「東京バレエ団 上野水香オン・ステージ」と題し、ラヴェル《ボレロ》をはじめとする珠玉のバレエ作品をお届けします。必見のプログラムとなること間違いありません。

3 オペラ、オーケストラ、室内楽など、 国内外一流アーティストが奏でるクラシック音楽

国内外の一流アーティストが、一斉に集う音楽祭として揺るぎない地位を築いてきた東京・春・音楽祭。世界水準の公演を日本のみならず、アジアや世界のお客様にお届けするため、毎年彩り豊かなラインナップをそろえてきました。2024年も演奏会形式のオペラ公演やオーケストラ公演に加え、生誕150年を迎えるシェーンベルクの特集公演や、音楽史に残るベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会（全7回）、最旬の音楽を紹介する室内楽公演の数々に東京春祭でしか聴くことのできないプログラムの公演など、東京・春・音楽祭ならではのラインナップで春の上野を彩ります。

4 東京春祭ならではの、個性的なシリーズ企画の数々

世界で活躍するソリストやオーケストラから選りすぐりの名手が集まり、またとない音楽との出会いの場があるのも東京春祭ならではの魅力のひとつ。バロックから現代の作品まで、多彩なテーマ、編成で、音楽の魅力を余すことなくお届けします。

「合唱の芸術シリーズ」では、生誕200年を迎えるブルックナーの《ミサ曲 第3番》を。1日の中で3回公演を重ねるユニークな「マラソン・コンサート」、「歌曲シリーズ」や「ディスカヴァリー・シリーズ」も聴き逃せません。

5 上野公園の美術館・博物館を舞台にした 「ミュージアム・コンサート」

上野公園内に点在する、日本を代表する美術館・博物館の展示室内や講堂で開催される人気のミュージアム・コンサート。2006年からスタートしたこの企画は、美術館や博物館が持つ荘厳な空間で、国内外のアーティストたちが、各特別展や会場の特徴に合わせたコンサートを開催いたします。

国立科学博物館では、20周年を記念し長く音楽祭に関わってきたアーティスト達が出演。東京国立博物館では、J.S.バッハの作品を中心にしたシリーズを。東京都美術館、国立西洋美術館での特別展や、上野の森美術館でのVOCA展とのコラボレーションなど、文化の集積地上野ならではの公演の数々をご用意しました。

プログラム詳細はP. 11以降の「公演一覧」をご覧ください。

6

子どもたちがクラシック音楽と出会う場！ 「東京春祭 for Kids」

未就学のお子様から高校生まで、幅広い年代を対象とした様々なプログラムを提供し、毎年好評の「東京春祭 for Kids」。パイロイト音楽祭提携の「子どものためのワーグナー」では、《トリスタンとイゾルデ》を親しみやすくアレンジしてお届け。同音楽祭の総監督カタリーナ・ワーグナーが監修をつとめます。

また、毎年人気の子どものための絵本と音楽の会や公開リハーサルなど、様々な年齢のお子様を対象にクラシック音楽の魅力をお伝えします。（2024年1月詳細発表予定）

7

舞台は上野の街中！ 「桜の街の音楽会」など無料イベント多数開催

上野周辺のみならず、オフィス街など都内の様々な場所を舞台に無料のミニ・コンサートを展開している「桜の街の音楽会」。今春は合計24か所で56公演を行い、多くのお客様に音楽をお届けしました。次春も、2月中旬ごろから4月中旬にかけて開催予定。気軽に音楽に触れあえる最高の場を創出します。お出かけの際は、音楽祭公式サイトで開催スケジュールのチェックをお忘れなく！（2024年2月詳細発表予定）

8

高画質・高音質・自由視点映像での ライブ・ストリーミング配信（有料）を実施

会場にご来場いただけない方にも、東京春祭の公演をお楽しみいただけるように始めた「東京・春・音楽祭LIVE Streaming」。これまでに引き続き、**高音質・高画質・自由視点映像**で実施いたします。ライブ配信ならではの臨場感を、皆さまそれぞれのスタイルでお楽しみください。（2024年2月詳細発表予定/権利関係の都合により配信されない公演もございます。）

9

20周年記念 お客様還元企画

20公演来場 & 5公演来場で特典プレゼント！

20回目の春を迎えられるのは、東京春祭へご来場・ご支援くださっている聴衆の皆様があってこそです。20周年を記念し、2種類の来場者特典をご用意しました。

一つ目は、**有料公演20公演にご来場の方全員を、2025年のお好きな公演（大ホール）に、お好きなお席でペアご招待！**「東京文化会館の大ホールなら、この席で聴きたい」というご希望にもお応えする、スペシャルな特典となっています。

二つ目は、**有料公演5公演にご来場した方全員に、東京春祭特製バッグをプレゼント！**

開催期間中、多数の公演にご来場下さっているお客様も多く、そんな方々への感謝の気持ちを込めて、2つのプレゼント企画を実施します。（後日詳細発表）

10

20周年記念 お客様還元企画

200人の20歳 リハーサルご招待 & U-25通い放題のスペシャルチケット発売！

若年層にもっと気軽に東京春祭を楽しんでもらうために、2024年は「200人の20歳をリハーサルにご招待」と「U-25スペシャルチケット販売」を実施いたします。

各公演のU-25チケット販売に加えて、**東京文化会館大ホール&小ホールで平日に開催される、合計26公演**を対象にしたサブスク感覚で使える**通い放題チケット**をU-25向けに販売。東京春祭では初の試みとなります。

「200人の20歳をリハーサルにご招待」の対象公演、応募方法などの詳細は、後日発表いたします。



■ オペラ4演目を上演

- 「ワーグナー・シリーズ」は、本シリーズでお馴染みのドイツの名匠**マレク・ヤノフスキ**指揮**NHK交響楽団**のもと、コロナ禍により開催が叶わなかったワーグナー10大作品完遂となる《トリスタンとイゾルデ》を取り上げる。**スチュアート・スケルトン**、**ビルギッテ・クリステンセン**らを迎えた、世界最高レベルのワーグナーは聴き逃さない(東京文化会館 大ホール3/27, 30)。
- 音楽祭の初期から絆を築いてきた巨匠**リッカルド・ムーティ**は、ヴェルディの名作《アイーダ》を**東京春祭オーケストラ**と上演。日本でムーティによる“ヴェルディ”を聴くことができるのは東京春祭だけ。ミラノ・スカラ座など欧州の檜舞台で活躍する**マリア・ホセ・シーリ**がタイトルロールを務める(東京文化会館 大ホール4/17, 20)。また、2019年から開催を続けてきた「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」は、実施を9月に移し、マエストロ・ムーティ、および受講生がより集中して音楽とその作品に向き合えるよう、最高の場を整えて実施。(後日詳細発表)
- 「ブッチェニ・シリーズ」は《ラ・ボエーム》を取り上げる。日本でも人気の高い**ステファン・ポップ**と、2022年の《トゥーランドット》公演でも好評を博した**セレーネ・ザネッティ**が悲運の恋人たちを演じる。オペラ演奏に定評のある**東京交響楽団**が演奏、世界中の名立たる劇場でイタリア・オペラを手掛けている指揮者**ピエール・ジョルジョ・モランディ**が好評だった2022年に続き、再び登場(東京文化会館 大ホール4/11, 14)。
- R. シュトラウス《エレクトラ》は、**セバスティアン・ヴァイグレ**が常任指揮者を務める**読売日本交響楽団**を率いて上演。ワーグナーガラ・コンサートにも出演するディーヴァ、**エレナ・パンクラトヴァ**がタイトルロールを務め、**藤村実穂子**ら世界の第一線で活躍する歌手陣で、シュトラウスの強烈な最高傑作をお届けする(東京文化会館 大ホール4/18, 21)。

■ 20周年記念公演 ガラ・コンサート&バレエ公演

- 揺るがない信頼で結ばれた**ヤノフスキ**と**NHK交響楽団**は、ワーグナー『ニーベルングの指環』ガラ・コンサートでも。世界トップクラスのワーグナー歌手と共に、2014~17年に開催された東京春祭リング・チクルスの熱気を再びお楽しみいただける贅沢な一夜が幕を開ける(東京文化会館 大ホール4/7)。
- 20周年記念として「東京バレエ団 上野水香オン・ステージ」を開催。日本を代表するプリマ・バレリーナの一人、**上野水香**が踊る《ボレロ》は必見(東京文化会館 大ホール3/19, 20)。

■ オペラ、オーケストラ、室内楽など、国内外一流アーティストが奏でるクラシック音楽

- 当代一のベートーヴェン作品のスペシャリストであり、オーストリアの宝とも評されるピアニスト、**ルドルフ・ブッフビンダー**が、2014年のザルツブルク音楽祭以来10年ぶりに、東京春祭でベートーヴェンピアノ・ソナタの全曲演奏に挑む。音楽史に残る、全7回にわたる演奏会の一つも聴き逃すことができない(東京文化会館 小ホール3/15, 16, 17, 19, 20, 21, 22)。
- 旬の世界的アーティストを一堂に楽しめるのも東京春祭ならではの。**吉井瑞穂**(オーボエ) & **川口成彦**(フォルテピアノ/チェンバロ)は、ここでしか聴けないバロック・プログラムを(東京文化会館 小ホール4/1)。確かな楽才に裏付けされた**イノン・バルナタン**(ピアノ)は、ラモーからラフマニノフまで、踊りをテーマとした彩り豊かなプログラムをお届け(東京文化会館 小ホール4/17)。第20回リーズ国際ピアノコンクール第2位入賞後、世界に活躍の場を広げている**小林海都**は、シューベルトを中心としたソロと室内楽のプログラムで才知を魅せる(東京文化会館 小ホール4/6)。





- 生誕150年を迎えるシェーンベルクは、近現代曲の演奏に定評がある**ディオティマ弦楽四重奏団**が、弦楽四重奏曲全曲演奏と銘打ち、ソプラノを加えた弦楽四重奏曲 第2番を取り上げる他、**安達真理**らとの共演の《浄められた夜》等に1日で挑む(東京藝術大学奏楽堂4/6)。「シェーンベルクとウィーン」と題した室内楽公演も開催する(東京文化会館 小ホール4/11)。
- ピエール・ブーレーズが立ち上げた**アンサンブル・アンテルコンタンポラン (EIC)**が、東京春祭に初出演を飾る。様々な編成でお届けする二夜連続の公演、一夜目は、EICならではの目線で20世紀に生まれた音楽の魅力を、“French Touch”と題された二夜目は日本初演作品など欧州最新の音楽シーンを紹介する(東京文化会館 小ホール4/8、9)。
- 世界的なオーケストラのコンサートマスターや首席奏者らによる室内楽公演も見逃せない。ウィーン・フィルコンサートマスターの**ライナー・ホーネック**は、欧州と日本を拠点に活躍するピアニスト**菊池洋子**と共演(東京文化会館 小ホール3/18)。ベルリン・フィルのメンバーによる室内楽では、**アレクサンダー・イヴィッチ**(ヴァイオリン)、**オラフ・マニングアー**(チェロ)、**ヴェンツェル・フックス**(クラリネット)らが登場する(東京文化会館 小ホール4/20)。
- 国内のオーケストラからも、多くのアーティストたちが室内楽公演に出演する。東京都交響楽団からは、特任首席ヴィオラ奏者の**店村真積**が11名の仲間たちとヴィオラ重奏を(東京文化会館 小ホール3/28)。N響メンバーによる室内楽は**村上淳一郎**(ヴィオラ)を中心に、**辻本 玲**(チェロ)、**吉村結実**(オーボエ)らがピアノに**津田裕也**を迎え、クルックハルトやワインガルトナー等、他では聴けないプログラムを(東京文化会館 小ホール4/18)。
- 旧東京音楽学校奏楽堂では、注目のソプラノ**隠岐彩夏**が日本歌曲を中心としたプログラムを歌うほか(旧東京音楽学校奏楽堂3/16)、共に第8回仙台国際音楽コンクールで優勝を飾った**中野りな**(ヴァイオリン) & **ルウオ・ジャチン**(ピアノ)(旧東京音楽学校奏楽堂3/23)、エリザベート王妃国際コンクールを制した覇者同士である、**戸田弥生**(ヴァイオリン) & **エル＝バシヤ**(ピアノ)は、オール・ベートーヴェン・プログラムを(旧東京音楽学校奏楽堂4/5)。第70回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門で、日本人として初めて入賞した**坂本 彩&坂本リサ**(ピアノ・デュオ)(旧東京音楽学校奏楽堂4/13)、日本音楽史に残る多くの名作を残した作曲家、山田耕筰のピアノ作品を取り上げる**佐野隆哉**の演奏にも注目が集まる(旧東京音楽学校奏楽堂4/20)。

■ 東京春祭ならではの、個性的なシリーズ企画の数々

- オーケストラ(**東京都交響楽団**)と合唱(**東京オペラシンガーズ**)で贈る「合唱の芸術シリーズ」は、生誕200年を迎えるブルックナーの宗教曲の最高傑作の一つと名高い《ミサ曲 第3番》を。ミュンヘン等主要歌劇場で活躍し、ドイツ作品を得意とする**ローター・ケーニヒス**が指揮、ソリストに**ハンナ＝エリーザベト・ミュラー**、**オッカ・フォン・デア・ダメラウ**、**アイン・アンガー**ら、世界第一線で活躍する旬の歌手が揃う(東京文化会館 大ホール4/13)。
- 読響コンサートマスター**長原幸太**らによる「名手たちによる室内楽の極」(東京文化会館 小ホール4/5)、11回目を迎え、**川本嘉子**、**向山佳絵子**を中心にブラームスの室内楽作品を10回以上にわたり取り上げてきた「ブラームスの室内楽」は、いよいよ最終回を迎える(東京文化会館 小ホール4/13)。**東京オペラシンガーズ**と**寺嶋陸也**による「にほんのうた」(東京文化会館 小ホール3/28)、**郷古 廉**と**加藤洋之**による「東京春祭〈Geist und Kunst〉室内楽シリーズ」は、“色彩と魂”と題してお届けする(東京文化会館 小ホール4/19)。
- 1人の作曲家に焦点を当てた公演では、**周防亮介**、**田原綾子**、**上野通明**、**北村朋幹**が2021年に引き続き「ショスタコーヴィチの室内楽」を(東京文化会館 小ホール3/29)。

- 1日3公演とたっぷりお楽しみいただける東京春祭ならではの「マラソン・コンサート」は、歓喜の歌（ベートーヴェン 交響曲 第9番）初演200年を室内楽と小宮正安のお話でご紹介（東京文化会館 小ホール3/23）。10回目を迎える、作曲家との新たな出会いが魅力の「ディスカヴァリー・シリーズ」は没後100年となるフェルッチョ・ブゾーニを深堀する（東京文化会館 小ホール3/30）。
- 40回になる「歌曲シリーズ」では、欧州を中心に活躍の幅を広げ、これからの飛躍が期待されている注目のソプラノレネケ・ルイテン（ソプラノ）が、シューマンやR. シュトラウスのリサイタルに加え（東京文化会館 小ホール4/4）、ディオティマ弦楽四重奏団との共演でシェーンベルク《弦楽四重奏曲 第2番》も披露（東京芸術大学奏楽堂4/6）。《エレクトラ》に出演する名歌手ルネ・パーペ（バス）がムソルグスキー《死の歌と踊り》など低音の魅力をも（東京文化会館 小ホール4/10）。世界中の歌劇場で今最も注目を集めている歌手の一人コンスタンティン・クリンメルが、シューベルト《美しき水車屋の娘》をお届けする（東京文化会館 小ホール4/12）。大物指揮者たちからの指名が後を絶たないオッカ・フォン・デア・ダメラウが歌うマーラーにも注目したい（東京文化会館 小ホール4/15）。

■上野公園の美術館・博物館を舞台にした「ミュージアム・コンサート」

国立科学博物館では、20周年を記念して長く音楽祭に関わってきたアーティスト達が集結。白井 圭（ヴァイオリン）&安田謙一郎（チェロ）、藤木大地（カウンターテナー）&大塚直哉（チェンバロ）、梶川真歩（フルート）&荒木奏美（オーボエ）のほか、N響メンバーも出演。J. S. バッハの作品を中心にしたシリーズを展開している東京国立博物館では、成田達輝（ヴァイオリン）、鈴木大介（ギター）、新倉 瞳（チェロ）らが出演予定。東京都美術館では「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」展記念コンサートを4回実施するほか、「デ・キリコ展」プレ・コンサートも開催。国立西洋美術館では「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？ 一国立西洋美術館65年目の自問 | 現代美術家たちへの問いかけ」展記念コンサートを実施し、VOCA展と毎年コラボレーションしている上野の森美術館では、三浦一馬（バンドネオン）、石上真由子（ヴァイオリン）等が現代美術作品の前で演奏する。



■子どもたちがクラシック音楽と出会う場！「東京春祭 for Kids」

バイロイト音楽祭提携の「子どものためのワーグナー」では、同音楽祭の総監督カタリーナ・ワーグナーを監修に迎え、《トリスタンとイゾルデ》を親しみやすくアレンジしてお届け。

毎年人気の子どものための絵本と音楽の会を実施するほか、ワーグナー《トリスタンとイゾルデ》、ブルックナー《ミサ曲 第3番》、プッチーニ《ラ・ボエーム》の公開リハーサルも実施予定。（2024年1月詳細発表予定）



公演詳細は決定次第

公式サイト (www.tokyo-harusai.com) にて順次発表

【公演に関する注意事項】

やむを得ぬ事情により出演者や曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

資料に関するお問い合わせ、取材依頼、画像貸出依頼は事務局までご連絡ください。

東京・春・音楽祭実行委員会 広報担当

TEL (03)5205-6401 FAX (03)5205-6403 E-mail press@tokyo-harusai.com

東京春祭オンライン・チケットサービスに
バラエティに富んだ購入プランが加わりました。
ご自身の鑑賞スタイルに合ったものをお選びください。

Myセレクト3

一般発売に先駆け、お好きな3公演を組み合わせて購入できる！

2024年から新たに導入されるチケット種類の一つ“Myセレクト3”。各公演毎の発売に先駆け、東京文化会館小ホール／東京藝術大学奏楽堂／旧東京音楽学校奏楽堂の3会場で行われる公演から「お好きな3公演」を自由に選択し、まとめて購入することができます。各公演毎にご自身のお好きな席の選択が可能です。

【受付期間】12月3日〔日〕10:00～6日〔水〕23:59

※対象は12月10日〔日〕または12月17日〔日〕に発売する公演のみとなります。

トリオ・チケット

3枚同時購入で5%OFF！

対象公演（※）を同じ席種で3枚同時にご購入の場合、チケット代金が定価より5%OFFになる「トリオ・チケット」が復活します！ご家族みなさまで、もしくはご友人とそろってのご来場にご活用ください。

※東京文化会館大ホール公演はS～B席のみ対象、一部公演は対象外。

U-25スペシャル★

東京文化会館の平日公演をお得に楽しめる！

各回のU-25に加えて、東京文化会館大ホール&小ホールで平日に開催される、合計26公演を対象にしたサブスク感覚で使える通い放題チケットを、18,000円にてU-25向けに販売！東京春祭では初の試みとなります。事前にスケジュールを立てにくい春の季節でも、思い立った時に予約不要で来場できます。

※枚数限定、上限に達し次第販売終了。

公式プログラム付チケット

公式プログラムをネットで予約、会場で受取

オンライン・チケットサービスで公式プログラムの事前予約ができるようになりました！全公演を網羅し、音楽祭をより深く楽しめる、と人気の公式プログラム。

※公式プログラム：約300ページ/1部700円（予定）

※販売は2月末まで。取扱いは一部会場限定。

毎月20日はチケット購入の日

20日に購入するとクーポン券をプレゼント！

東京春祭20周年を記念し、毎月20日にチケットを購入いただいた方の内、抽選で20名様にオンライン・チケットサービスで次回予約時にご利用可能なクーポン券（¥200）をプレゼント！

【キャンペーン対象購入日】

11月20日〔月〕、12月20日〔水〕、1月20日〔土〕、2月20日〔火〕、3月20日〔水・祝〕

各日の0:00～23:59

※クーポンのご利用には期限があります。

2023年11月11日〔土〕10:00より チケット順次発売

- ・U-25チケット：2024年2月15日〔木〕12:00発売
- ・ネット席（配信チケット）：2024年2月23日〔金・祝〕12:00発売
- ・チケット販売スケジュールの詳細は公式サイトをご確認ください。

旧東京音楽学校奏楽堂

東京藝術大学音楽学部の前身、東京音楽学校の校舎として、1890(明治23)年に建築され、日本における音楽教育の中心的な役割を担ってきた。2階の日本最古の洋式音楽ホールは、かつて瀧廉太郎、山田耕筰、三浦環らが演奏をした由緒ある舞台。1983(昭和58)年に台東区が譲り受け、移築後、一般公開を開始、1988(昭和63)年には重要文化財の指定を受けている。2018(平成30)年11月にリニューアルオープン。

東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

1998(平成10)年、移設された旧奏楽堂の跡地に、コンサートホールとして新しく建設。ホール全体が一つの優れた楽器として考えられ、多様な使用目的に対応した音響空間になっている。フランスのガルニエ社製オルガンが設置され、学内外の音楽家によるオーケストラ、オペラ、合唱、邦楽、室内楽等が催されている。

東京国立博物館

1872(明治5)年創立、日本で最も長い歴史を持つ博物館として日本を中心に広く東洋諸地域の文化財を収集・保管・展示しています。所蔵品の数は12万件を超え、本館、東洋館、平成館、法隆寺宝物館、表慶館、黒田記念館の6つの展示館があります。季節や年中行事に合わせた催し、教育普及事業なども行っており、多岐にわたる事業を通して世界中の人々に愛されています。

東京都美術館

1926(大正15)年、日本初の公立美術館として開館。国内外の名品を楽しめる特別展や企画展、公募展など、多くの展覧会を開催するほか、アート・コミュニケーション事業など、「アートへの入口」としてさまざまな事業を展開し、「心のゆたかさの拠り所」となる美術館を目指している。

国立科学博物館

1877(明治10)年創立、日本最大級の総合科学博物館です。常設展示では「人類と自然の共存をめざして」をメインメッセージとし、恐竜の化石や大型動物の剥製など自然史の標本や、日本の科学技術に関する資料などを幅広く展示しています。日本館は国指定重要文化財であり、ネオルネサンス様式を基調とした重厚な建物や、柔らかい光が差し込むステンドグラスも見どころです。

国立西洋美術館

1959(昭和34)年6月、フランス政府から寄贈返還された松方コレクションを基に、ル・コルビュジエの設計により開館。中世末期から20世紀半ばまでの作品による常設展に加え、企画展も充実の国立美術館。2016(平成28)年7月、国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー」が、世界遺産に登録された。

東京文化会館

1961(昭和36)年4月の開館以来、数多くのオペラ、バレエ、クラシックコンサートが行われてきた。建物は前川國男設計による代表的なモダニズム建築であり、「音楽の殿堂」として親しまれている。

上野の森美術館

上野公園内にある私立の美術館で、日本美術協会の美術展示館を設備し、1972(昭和47)年に開館。以来、所蔵品の公開のほか、「VOCA展」をはじめ、話題となる展覧会を開催している。



東京のオペラの森 (2005年～2008年)

東京の春の訪れを、新演出のオペラの制作・上演を中心に、「音楽」と共に祝おうと、2005年より毎春、約1ヵ月に亘り開催。音楽監督・小澤征爾氏を中心に、ウィーン国立歌劇場、国立パリ・オペラ座、フィレンツェ歌劇場などとの、新演出のオペラ共同制作・東京でのワールド・ブルミエ公演を核とし、毎回、その年のオペラ作品の作曲家をテーマに、オーケストラ公演、室内楽公演なども行ってきた。また2回目の2006年より、上野公園内の文化施設でもコンサートなど多数行い、上野公園を訪れる多くの方にも親しまれた。



2005年公演
(3月13日～22日)



2006年公演
(3月11日～4月8日)



2007年公演
(2月12日～3月28日)



2008年公演
(3月8日～4月20日)

東京・春・音楽祭 (2009年～)

2005年から開始した「東京のオペラの森」を前身として、第5回目の2009年より「東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森-」として新たな幕開けをした音楽祭。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」や、オーケストラ公演、国内外で活躍しているアーティストによる公演をはじめ、上野公園内の美術館、博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」など、様々なコンサートを行っている。今後も、東京-上野に根ざした、多彩な形の音楽祭を追求し、展開していく。



2009年公演
(3月12日～4月16日)



2010年公演
(3月14日～4月10日)



2011年公演
(3月18日～4月10日)



2012年公演
(3月16日～4月8日)



2013年公演
(3月15日～4月14日)



2014年公演
(3月14日～4月13日)



2015年公演
(3月13日～4月12日)



2016年公演
(3月16日～4月17日)



2017年公演
(3月16日～4月16日)



2018年公演
(3月16日～4月15日)



2019年公演
(3月15日～4月14日)



2020年公演
(3月13日～4月18日)
3月27日以降全公演中止



2021年公演
(3月19日～4月23日)



2022年公演
(3月18日～4月19日)



2023年公演
(3月18日～4月16日)

東京・春・音楽祭2024 公演一覧（2023年10月30日現在）

公演日	時間	公演名	会場	来場チケット発売日
3月15日 [金]	19:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 I	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月16日 [土]	14:00	隠岐彩夏（ソプラノ）	旧東京音楽学校 奏楽堂	12月17日[日]
	14:00	ミュージアム・コンサート 「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」展 記念コンサート vol.1 小倉貴久子（フォルテピアノ）	東京都美術館 講堂	1月21日[日]
	15:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 II	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月17日 [日]	14:00	ミュージアム・コンサート 吉田 秀（コントラバス） & 幣 隆太郎（コントラバス）	国立科学博物館 日本館2階講堂	1月21日[日]
	15:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 III	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月18日 [月]	19:00	ライナー・ホーネック（ヴァイオリン） & 菊池洋子（ピアノ）	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月19日 [火]	11:00 14:00	ミュージアム・コンサート 「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？」展 記念コンサート vol.1	国立西洋美術館 講堂	1月21日[日]
	19:00	東京バレエ団 上野水香オン・ステージ	東京文化会館 大ホール	11月12日[日]
	19:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 IV	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	19:00	ミュージアム・コンサート 三浦一馬（バンドネオン）～現代美術と音楽が出会うとき	上野の森美術館 展示室	1月21日[日]
3月20日 [水・祝]	15:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 V	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	16:00	東京バレエ団 上野水香オン・ステージ	東京文化会館 大ホール	11月12日[日]
3月21日 [木]	19:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 VI	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	19:00	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.65 成田達輝（ヴァイオリン）	東京国立博物館 法隆寺宝物館 エントランスホール	1月21日[日]
3月22日 [金]	14:00	ミュージアム・コンサート 「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」展 記念コンサート vol.2 尾池亜美（ヴァイオリン）	東京都美術館 講堂	1月21日[日]
	19:00	ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ） ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 VII	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月23日 [土]	13:00 16:00 19:00	東京春祭マラソン・コンサート vol.14 《第九》への道——《第九》からの道 歓喜の歌（ベートーヴェン 交響曲 第9番）初演200年に寄せて	東京文化会館 小ホール	1月21日[日]
	14:00	中野りな（ヴァイオリン） & ルウオ・ジャチン（ピアノ）	旧東京音楽学校 奏楽堂	12月17日[日]
	14:00	東京春祭 for Kids 子どものためのワーグナー《トリスタンとイゾルデ》 （パイロイト音楽祭提携公演）	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン	1月21日[日]
3月24日 [日]	14:00	ミュージアム・コンサート 「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」展 記念コンサート vol.3 三浦友理枝（ピアノ）	東京都美術館 講堂	1月21日[日]
	14:00	東京春祭 for Kids 子どものためのワーグナー《トリスタンとイゾルデ》 （パイロイト音楽祭提携公演）	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン	1月21日[日]
3月25日 [月]	19:00	ミュージアム・コンサート 石上真由子（ヴァイオリン）～現代美術と音楽が出会うとき	上野の森美術館 展示室	1月21日[日]

	時間	公演名	会場	来場チケット 発売日
3月26日 [火]	11:00 14:00	ミュージアム・コンサート 「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？」展 記念コンサート vol.2	国立西洋美術館 講堂	1月21日[日]
	19:00	東京春祭チェンバー・オーケストラ	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	19:00	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.66 鈴木大介 (ギター) 第一夜	東京国立博物館 平成館ラウンジ	1月21日[日]
3月27日 [水]	15:00	東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.15 《トリスタンとイゾルデ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月11日[土]
3月28日 [木]	14:00	にほんのうた XIII ~東京オペラシンガーズ 合唱で聴く美しいにほんのうた	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	19:00	都響メンバーによる室内楽 ヴィオラ・アンサンブル	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
	19:00	東京春祭 for Kids 子どものためのワーグナー《トリスタンとイゾルデ》 (パイロイト音楽祭提携公演)	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン	1月21日[日]
3月29日 [金]	19:00	ショスタコーヴィチの室内楽	東京文化会館 小ホール	12月10日[日]
3月30日 [土]	14:00	東京春祭 for Kids 子どものためのワーグナー《トリスタンとイゾルデ》 (パイロイト音楽祭提携公演)	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン	1月21日[日]
	15:00	東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.15 《トリスタンとイゾルデ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月11日[土]
	16:00	東京春祭ディスカヴァリー・シリーズvol.10 フェルッチョ・ブゾーニ 没後100年に寄せて	東京文化会館 小ホール	1月21日[日]
3月31日 [日]	14:00	東京春祭 for Kids 子どものためのワーグナー《トリスタンとイゾルデ》 (パイロイト音楽祭提携公演)	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン	1月21日[日]
		3月31日はミミにイチバン オーケストラの日2024	東京文化会館	
4月1日 [月]	19:00	吉井瑞穂 (オーボエ) & 川口成彦 (フォルテピアノ/チェンバロ)	東京文化会館 小ホール	12月17日[日]
4月2日 [火]	14:00	ミュージアム・コンサート 「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」展 記念コンサート vol.4 ヴィルトス・クワルテット	東京都美術館 講堂	1月21日[日]
4月3日 [水]	19:00	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol.67	東京国立博物館 平成館ラウンジ	1月21日[日]
4月4日 [木]	19:00	東京春祭 歌曲シリーズ vol.37 レネケ・ルイテン (ソプラノ) & トム・ヤンセン (ピアノ)	東京文化会館 小ホール	12月17日[日]
4月5日 [金]	18:30	戸田弥生 (ヴァイオリン) & エル＝バンシャ (ピアノ)	旧東京音楽学校 奏楽堂	12月17日[日]
	19:00	名手たちによる室内楽の極 (きわみ)	東京文化会館 小ホール	12月17日[日]
4月6日 [土]	14:00	ディオティマ弦楽四重奏団 シェーンベルク 弦楽四重奏曲 全曲演奏会 生誕150年に寄せて	東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)	12月10日[日]
	15:00	小林海都 (ピアノ) と仲間たち	東京文化会館 小ホール	12月17日[日]
4月7日 [日]	14:00	ミュージアム・コンサート 藤木大地 (カウンターテナー) & 大塚直哉 (チェンバロ)	国立科学博物館 日本館2階講堂	1月21日[日]
	15:00	The 20th Anniversary ワーグナー『ニーベルングの指環』ガラ・コンサート	東京文化会館 大ホール	11月11日[土]
4月8日 [月]	19:00	アンサンブル・アンテルコンタンポラン I Classics of the 20th Century	東京文化会館 小ホール	12月17日[日]

公演日	時間	公演名	会場	来場チケット 発売日
4月9日 〔火〕	19:00	アンサンブル・アンテルコンタンポラン II French Touch	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
	19:00	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol. 68 鈴木大介 (ギター) 第二夜	東京国立博物館 平成館ラウンジ	1月21日〔日〕
4月10日 〔水〕	19:00	東京春祭 歌曲シリーズ vol. 38 ルネ・パーペ (バス) & カミッロ・ラディケ (ピアノ)	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
	19:00	ミュージアム・コンサート N響メンバーによる室内楽	国立科学博物館 日本館2階講堂	1月21日〔日〕
4月11日 〔木〕	18:30	東京春祭 プッチーニ・シリーズ vol. 5 《ラ・ボエーム》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月12日〔日〕
	19:00	シェーンベルクとウィーン 生誕150年に寄せて	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
	19:00	ミュージアム・コンサート 東博でバッハ vol. 69 新倉 瞳 (チェロ)	東京国立博物館 法隆寺宝物館 エントランスホール	1月21日〔日〕
4月12日 〔金〕	19:00	東京春祭 歌曲シリーズ vol. 39 コンスタンティン・クリンメル (バリトン) & ダニエル・ハイデ (ピアノ)	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月13日 〔土〕	14:00	東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol. 11 ブルックナー 《ミサ曲第3番》 生誕200年に寄せて	東京文化会館 大ホール	11月11日〔土〕
	14:00	坂本 彩 & 坂本リサ (ピアノ・デュオ)	旧東京音楽学校 奏楽堂	12月17日〔日〕
	18:00	ブラームスの室内楽 XI	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月14日 〔日〕	14:00	東京春祭 プッチーニ・シリーズ vol. 5 《ラ・ボエーム》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月12日〔日〕
4月15日 〔月〕	19:00	東京春祭 歌曲シリーズ vol. 40 オッカ・フォン・デア・ダメラウ (メゾ・ソプラノ) & ソフィー・レノー (ピアノ)	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月16日 〔火〕	19:00	ミュージアム・コンサート 白井 圭 (ヴァイオリン) & 安田謙一郎 (チェロ)	国立科学博物館 地球館地下2階常設展示室	1月21日〔日〕
4月17日 〔水〕	14:00	《アイーダ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月12日〔日〕
	19:00	イノン・バルナタン (ピアノ)	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月18日 〔木〕	19:00	《エレクトラ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月11日〔土〕
	19:00	N響メンバーによる室内楽	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月19日 〔金〕	14:00	ミュージアム・コンサート 「デ・キリコ展」プレ・コンサート 盛田麻央 (ソプラノ)	東京都美術館 講堂	1月21日〔日〕
	19:00	東京春祭 (Geist und Kunst) 室内楽シリーズ vol. 4 郷古 廉 (ヴァイオリン) & 加藤洋之 (ピアノ) 色彩と魂——横坂 源 (チェロ) を迎えて	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
	19:00	ミュージアム・コンサート 梶川真歩 (フルート) & 荒木奏美 (オーボエ)	国立科学博物館 地球館地下2階常設展示室	1月21日〔日〕
4月20日 〔土〕	14:00	《アイーダ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月12日〔日〕
	14:00	佐野隆哉 (ピアノ)	旧東京音楽学校 奏楽堂	12月17日〔日〕
	18:30	ベルリン・フィルのメンバーによる室内楽	東京文化会館 小ホール	12月17日〔日〕
4月21日 〔日〕	15:00	《エレクトラ》 (演奏会形式/字幕付)	東京文化会館 大ホール	11月11日〔土〕